

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	谷口 智広												
	事業名	お城で忍者事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	230106	決算付属資料	86・88	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成9年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	くの一武道大会丹波福知山の段実行委員会補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山城の魅力を全国に発信する。										
	対象者	市民、大会参加者 (全国対象)	観覧者 (主に観光客対象)	対象者数	750	単位あたりコスト	4.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	くの一武道大会丹波福知山の段実行委員会										
	事業概要	■福知山城の魅力を全国に発信することを目的として、忍術大会及び忍術体験会を開催する。 実行委員会を組織し企画運営を行い、まちづくり団体や市民ボランティアの協力で競技に関する大道具・会場運営を行い、市民協働で実施する。 実行委員会: 福知山観光協会、尼子事務所(忍たま乱太郎の原作者「尼子騒兵衛」事務所)、福知山市で構成 主な事業: 光秀忍たま武道大会、忍者でまちぶら、くの一武道大会 ※平成30年度の「くの一武道大会」は、警報発令のため中止になった。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		旅費	イベント開催に係る協議							21		
需用費		消耗品							33			
役務費		郵送料							7			
使用料及び賃借料		高速道路通行料							6			
関連事業	負担金補助及び交付金											
	くの一武道大会丹波福知山の段実行委員会補助金							500				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	254	434	604	394	0				
		②補正予算	13	23		0					
		③流充用額			△ 9	0					
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	財源内訳 (①+④内訳)	前年度繰越									
		次年度繰越									
		一般財源	267	47	29		0				
		国支出金	0	193		179					
		府支出金	0	0							
		地方債	0	0							
	その他特財	0	217	566	215						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと納税基金		種類	基金繰入金	実績金額	566	決算付属資料	38	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.25/0	0.1 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0						
⑤概算人件費	2,000	800	2,400	2,400							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,267	1,257	2,995	2,794							
⑦執行額	267	449	567								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	98.2%	95.3%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		メディア取材件数	回	3 / 8	8 / 9	0 / 9	/ 9	9
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施回数	回	1 / 1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
		単位あたりコスト		267.0	449.0	0.0		
		応募者人数	人	93 / 100	102 / 100	38 / 100	/ 100	100
単位あたりコスト		2.9	4.4	14.9				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	民間事業者と市民が協働し運営している。福知山城の立地を活かした取組となっている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	コストの割には効率よく全国にPRできる事業である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	全国から参加者があり、また全国に発信できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		大雨警報発令により「くの一武道大会」は中止となったが、「光秀忍たま武道大会」や「忍者でまちぶら」の開催により福知山城のPRができた。	
今後の課題及び方向性		広報の方法を再検討し、また観客も参加できるしくみづくりが必要と思われる。 令和元年度は、産業観光課に執行委任済み	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	産業観光課へ事業移管のため、まちづくり推進課では予算要求を実施しない。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 まちづくり推進課												
	作成責任者	谷口 智広												
	事業名	「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり検討事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	320107	決算付属資料	90	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成29年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市域を流れる由良川と隣接した地域において、水辺空間を活かしたまちづくりを進める。									
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるため、国・府・地元団体等と連携した地域活性化策となる事業を検討していく。 H30年度の主な事業：大阪市ミズベリングの研修参加、担当者会議の開催									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	旅費	イベント参加旅費							9		
	役務費	郵送料							1		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	0	617	333	253	0				
		②補正予算	0	0							
		③流充用額			△ 90						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
		前年度繰越									
		次年度繰越									
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	0	199	233	0	0				
		国支出金	0	0							
		府支出金	0	0							
		地方債	0	0							
		その他特財	0	418	10	253					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金		種類	基金繰入金	実績金額	10	決算付属資料	34	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0 / 0	0.3 / 0	0.05 / 0	0.05 / 0					
⑤概算人件費		0	2,400	400	400						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		0	3,017	643	653						
⑦執行額		0	418	10							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			67.7%	4.1%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		委員提案事業数	件	0 / 0	10 / 10	0 / 10	/ 10	10
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		検討会議開催数	回	/	6/6	0/6	/ 6	-
		単位あたりコスト		0.0	69.8	0.0		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国府等、関係機関と協議を進め、H29年度に協議したあしぎぬ大雲の里周辺を含め、全市的な展開とすることを決定した。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	全市展開の方向性で、詳細については今後検討していく。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	「かわ」を防災だけでなく「資源」として検討することで有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	H29年度に「あしぎぬ大雲の里」において、由良川流域の景観・歴史・文化等の特徴を活かした良好な形成、資源を活用する地域振興・観光振興を図るため、大江地域にて地元住民、関係団体等でワークショップを開催し、「あしぎぬ大雲の里」かわまちづくり方針案を策定したが、H30年度に市内全域で由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを国府地元団体等と連携し、地域活性化を図っていく方向に転換したため、H30年度の主な事業としては、先進地の研修参加、担当者会議の開催にとどまった。		
	今後の課題及び方向性	・今後も引き続き、由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるために、国府や地元団体等と連携し、地域活性化策となる事業を検討していく。		

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>国府や地元団体等と連携し、地域活性化策となる事業の検討は引き続き行っていくが、それに伴う予算要求はまちづくり推進課では行わない。</p> <p>令和2年度は大江地域においてかわまちづくり事業に係るハード整備を実施予定であり、「大江かわまちづくり整備事業」として用地課が予算要求を行っている。</p> <p>【H30棚卸しによる取組状況】</p> <p>関係各課が集まったかわまちづくり推進会議及び庁内の関係課若手職員を中心としたPTを結成し、かわまちづくり基本計画を令和元年度中に策定する。</p> <p>市内の重点ポイントとしては戸田、荒河、大雲の3地域を選定し、戸田と大雲については戸田自治会と大江まちづくり住民協議会にそれぞれ事業説明及び協力の呼びかけを行った。</p> <p>国府とも連携を進め、各機関の幹部が集まった会議をもったほか、国と同行のもと現地踏査や事業者へのヒアリングを実施した。</p> <p>国のかわまちづくり計画申請は、大雲を中心に計画を作り、令和2年度に申請予定。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 三和支所												
	作成責任者	水谷 由紀												
	事業名	三和ふれあいフェスティバル事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	130312	決算付属資料	86	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成18年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市三和ふれあいフェスティバル事業補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントとして実施する。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。									
	対象者	三和地域の市民	対象者数	3,381	単位あたりコスト	1.1					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	-									
	事業概要	町外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベント。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。									

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費
	負担金補助及び交付金	三和ふれあいフェスティバル実行委員会に対する交付金	1,000

関連事業	-									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初		1,100	1,000	500	950			
		②補正予算		0	0					
		③流充用額			0					
		④繰越額計		0	0	0	0			
	財源内訳 (①④⑤内訳)	前年度繰越		0	0	0	0			
		次年度繰越		0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	0	400			
	国支	0	0	0	0	0				
	府支	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財		1,100	1,000	500	550				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	490	決算付属資料	34	頁
		特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	510	決算付属資料	36	頁
	人件費	0.32/0	0.36 / 0	0.34 / 0	0.34 / 0					
⑤概算人件費	2,560	2,880	2,720	2,720						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,560	3,980	3,720	3,220						
⑦執行額	0	1,100	1,000							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		来場者数	人	5000	4500	4500	/ 4500	4500
		延べ参加団体数	団体	61	62	64	/ 65	65
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実行委員会開催回数	回	10	9/9	9/9	/ 9	9
		単位あたりコスト		-	122.2	111.1		
単位あたりコスト				/	/			

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものである。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・参加団体から参加費を徴収するなどイベントの財源の一部を確保するよう努めている。 ・地元の資源を利用した効率的な手づくりイベントである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。 ・次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。 来場者数は当日の天候にも左右されるが、数字的には目的をほぼ達成できていると考える。地域住民の積極的な参加意識・地域おこしの意識を喚起するイベントであることと併せ、地域活性化につながっている。		
今後の課題及び方向性	将来的に極度の人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自身が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 夜久野支所												
	作成責任者	衣川 正彦												
	事業名	夜久野高原・道の駅支援事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	220306	決算付属資料	86	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成26年度(2014)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等	森の京都福知山マスタープラン												
	根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府唯一の火山である宝山により形成された溶岩台地であり、風向明媚で史跡にも恵まれた夜久野高原やその観光拠点となる道の駅「農匠の郷やくの」に関する情報を地域内外へ発信し、これらへの集客と住民交流を促進する。									
	対象者	観光客及び市民	対象者数	22,600	単位あたりコスト	0.2					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会									
	事業概要	夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」において実施されるイベントに対して補助金を交付する。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
	負担金補助及び交付金	やくの高原まつり実行委員会が実施するイベントに要する経費に対する補助(総事業費3,554千円)							562		
	負担金補助及び交付金	夜久野農林商工祭実行委員会が実施するイベントに要する経費に対する補助(総事業費193千円)							158		
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	0	738	720	702	702			
	②補正予算								
	③流充用額	0	0	0	0				
	④繰越額計	1,000	0	0	0	0			
	前年度繰越		0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
予算と執行の状況	一般財源	0	369	0	0	0			
	国支支出金	1,000	0	0	0	0			
	府支支出金	0	369	360	351	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他特財	0	0	360	351	702			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと創生事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	360	決算付属資料	36	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.45/0	0.45 / 0	0.55 / 0	0.55 / 0					
⑤概算人件費	3,600	3,600	4,400	4,400					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,600	4,338	5,120	5,102					
⑦執行額	1,000	738	720						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	高原まつり来場者数	人	16,000/15,000	18,000/16,000
	農林商工祭来場者数	人	5,600/6,600	6,000/6,600	6,500/6,600	/ 6,600	6,600
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	やくの高原まつり補助額	千円	640/640	576/576	562/562	/ 548	548
	単位あたりコスト		-	-	-		
	夜久野農林商工祭補助額	千円	180/180	162/162	158/158	/ 154	120
	単位あたりコスト		-	-	-		

	項目	評価	評価に対する説明		
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	実行委員会により実施される地域に定着したイベントであるが、自己資金のみでの開催は困難。道の駅への集客は年々減少傾向にあり情報発信する事業として必要である。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△		受益者負担との負担関係について実施団体と協議を進める必要があるが、補助金額に対する集客数は十分と考える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○		一時的な集客には繋がっているが、年間を通しての集客数は減少傾向にある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	各イベント実施による集客数は、ほぼ達成しており評価できる。 道の駅「農匠の郷やくの」への集客数については、このイベントが一時的なものであり年間を通じての集客に繋がっていないため、今後のイベントのあり方を検討する必要がある。			
今後の課題及び方向性	イベントにより一時的な集客は評価できるが、年間を通しての集客は減少傾向にあり検討を要する。 また、事業の目的・成果や事業費の補助等について、支援団体と協議し、一定のルール化を図る。				

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○令和元年度に補助金2.5%の削減を行った。</p> <p>○補助金の額は令和元年度と同額とし、補助金の交付先に協賛金等資金獲得に努めてもらうことで事業の安定を図る。</p> <p>【H29棚卸しに係る見直し状況】</p> <p>○「やくの高原まつり実行委員会」及び「夜久野農林商工祭幹事会」と補助金見直しの協議を行った。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	地域振興部 大江支所						
	作成責任者	吉田 和彦						
	事業名	元伊勢八朔祭補助事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 地域交流推進費	会計 一般	事業コード 130332	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 060301	施策名	観光客の増加を促進する				
	開始年度	昭和60年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	—						
	根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	観光施設のトイレやハイキング道の適正な維持管理により、観光振興の推進、観光客の満足度向上、観光入込客数の増加を図る。				
	対象者	観光客及び市民	対象者数	—	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	元伊勢八朔祭練込保存会				
	事業概要	「元伊勢八朔祭練込保存会」に補助金を交付する。 ※ 平成30年度は、7月豪雨災害により八朔祭練込が中止となり補助金支出は未執行。 【元伊勢八朔祭礼】 事業概要：■実施日：9月の第1日曜日 ■実施場所：大江町天田内・内宮・二俣地内 ■事業内容：奴行列、鳥毛廻し、練込み祭礼				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費	
		補助金	元伊勢八朔祭補助金		0	
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	78	70	68	60	60
	②補正予算	0	0	0		
	③流充額			0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0			
	次年度繰越		0	0		
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	78	70	0	0	0
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	68	60	60
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.03/0	0.03 / 0.05	0.02 / 0.05	0.02 / 0.05	
	⑤概算人件費	240	365	285	285	
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	318	435	353	345	
	⑦執行額	78	70	0		
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	入込客数	人	700/1,500	500 /1,500
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	1/1	1/1	—/1	/1	/1
	単位あたりコスト		78.0	70.0	0.0		
	鳥毛廻し参加地区数		3/3	3/3	—/—	/	
単位あたりコスト		26.0	23.3	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域組織の負担をもって実施することは可能だが現実的には高齢化また人口減など取り巻く状況は厳しく、祭り継承者の確保が難しくなっている。伝統の継承及び地域活性化の観点から市の支援は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・地域組織の一定の負担は必要でありが、保存にかかる経費の一部を補助することにより運営が図られている。 ・自主財源による運営また他の助成を促すため適正な補助を行う。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果の入込客数については、目標数値との乖離はあるが、市の観光資源のPR不足も見受けられる。活動実績は見込みに届いていない。 ・文化の伝承については、団体の活動により次代に引き継がれている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対し補助することにより登録無形民俗文化財の継承が行われている。保存会を核に内宮・二俣・天田内の3地区において毎年練り込みが開催され、各地区での伝統的行事の継承と伝統の発信がされており、目的を果たしている。</p> <p>平成30年度は、7月豪雨災害により八朔祭礼練込が中止となり補助金支出は未執行。</p>	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地区人口の減による伝統継承者の不足が課題にあり、伝統的行事の保存継承者の確保が必要とされる。 ・伝統文化の発信、PRにおいてマスメディア、SNS等のツールの活用また海の京都DMO等組織との連携により効果的な広報に取り組む。 ・江戸時代から続く伝統ある行事を守るため伝統的祭事に対して補助を行っているが、限られた財源において補助率の見直しを進める。 <p>平成31年度 補助率 1/2以内</p>		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	京都府伝統的行事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承のため、補助金を事業費の1/2以内とし、予算の範囲内において事業を継続する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課												
	作成責任者	足立 譲治												
	事業名	地域CI展開事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域交流推進費	会計	一般会計	事業コード	130311	決算付属資料	84・86	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成3年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	魅力的なまちづくりを進め、ふるさとへの愛着心の高揚を図るため、市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターの普及・啓発を図る。市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターを市内外に普及・啓発することで、福知山市の個性化を図る。												
	対象者	市民	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.0								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	■平成30年度事業概要 ・市の木・花・鳥の普及、啓発。市の木・花・鳥のパンフレット配布。 ・イメージキャラクター「ドッコちゃん」の着ぐるみ貸与と「ドッコちゃん」と酒呑童子のイラストを活用し、市民への啓発を図る。												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容									H30経費		
	需用費	消耗品									35			
	役務費	郵送料、クリーニング代									9			
	旅費	地域力再生プロジェクト説明会参加旅費									7			
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	163	59	57	0		
	②補正予算	1	4				
	③流充用額			△ 5			
	④繰越額計	0	0	0	0	0	
	前年度繰越						
	次年度繰越						
予算と執行の状況	一般財源	164	63	52	0	0	
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.10 / 0	0.1 / 0	0.22 / 0	0.22 / 0		
	⑤概算人件費	800	800	1,760	1,760		
	⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	964	863	1,812	1,760		
	⑦執行額	105	44	51			
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	64.0%	69.8%	98.1%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922951/942000	946618/942000	950000/942000	/	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	着ぐるみ貸し出し件数	回	26 / 40	42 / 40	22 / 40	/	40	
	単位あたりコスト		6.3	1.0	2.3			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	着ぐるみは市内イベント等で活用され市民やイベント主催者のニーズは高い。また、イラスト使用にあたっては、各種媒体で使用するにより本市のPRになる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	多様なイベントで活用され、コストをかけずに周知が図れ効率的な事業運営ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市の花に親しむとともに、キャラクターのかつようにより子どもから高齢者まで、ふるさと福知山を実感できる機会となり有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		○着ぐるみ貸出件数は年度によって増減があるものの、一定の需要はあるため継続していく。	
今後の課題及び方向性		○シティプロモーションと一体化した事業展開を図っていくため、令和元年度より秘書広報課に所管替え	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度にまちづくり推進課から秘書広報課へ所管替え済。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課									
	作成責任者	足立 譲治									
	事業名	福知山光秀プロジェクト推進事業									
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230118	決算付属資料 184	頁			
	施策体系	施策コード 060301	施策名 観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成30年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等										
	根拠法令等										
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送をきっかけとした本市のPRや誘客による商業・産業の活性化及びビビックプライドの醸成を図る。									
	対象者	観光客及び市民	対象者数 946,618	単位あたりコスト 0.0							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	福知山光秀プロジェクト推進協議会									
	事業概要	平成30年9月に設立された「福知山光秀プロジェクト推進協議会」が実施する下記事業への負担金 ・福知山光秀ミュージアム(仮称)整備運営 ・広報・PR ・団体連携 ・土産物販売所設置運営 等									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費							
		負担金	「福知山光秀プロジェクト推進協議会」への負担金	1,850							
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初			0	103,163	129,902	
	②補正予算			1,850			
	③流充用額			0			
	④繰越額計			0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0		
	次年度繰越		0	0	0		
予算と執行の状況	一般財源			0	0	0	
	国支出金			0	47,332	50,366	
	府支出金			0	0		
	地方債			0	4,500		
	その他特財			1,850	51,331	79,536	
	主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称 地域振興基金	種類	基金繰入金	実績金額 925	決算付属資料 34	頁
		特財名称 みらい戦略一括交付金	種類	府補助金	実績金額 925	決算付属資料 26	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.56 / 0	0.56 / 0			
⑤概算人件費			4,480	4,480			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			6,330	107,643			
⑦執行額			1,850				
執行率 (⑦/(①+②+③+④) × 100)			100.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086/980,000	/ 1000000	1,000,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実行委員会開催回数	回	—	—	8	/ 8	8
	単位あたりコスト				231.8			
	単位あたりコスト					/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○大河ドラマ「麒麟がくる」は、本市の観光をきっかけとした産業・商業の発展を図る好機である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	○先進事例を踏まえ、行政だけでなく、事業者や商業団体等と連携して事業を推進するため「福知山光秀プロジェクト推進協議会」を設立し活動主体とする。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○過去に大河ドラマを活かした地域活性化を図った自治体等から情報収集し事業検討に活かした。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	○平成30年度については、事務局設立及び事業検討を主に行ったため、指標等は未設定。		
今後の課題及び方向性	○行政だけでなく、広く、事業者や商工団体等の参画を得てオール福知山体制での取り組みとする必要がある。また、他の明智光秀ゆかりの地と連携し、周遊を促す仕掛けをつくる必要がある。大河ドラマに関連する企画の運営等については、民間ノウハウを最大限に活用してることが重要。 ○事業の所管を平成31年度から秘書広報課に移管			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>○成果目標の見直しを(商業・産業の活性化とシビックプライドの醸成を図ったかどうかの、目標を設定して頂きたい)</p> <p>○事業概要にシビックプライド醸成するための項目の記載が必要ではないか？具体的な活動を概要に記載できないか？</p> <p>○成果としては定量的な項目はなじまないと思うが、学生の活動のように定性的な項目は限定列挙方式で記載すればどうか？</p> <p>○事業概要に、土産物販売所設置運営があるが、福知山市の野菜・果物等1次産品の青空市場の設営を、お城、市役所、福知山駅前広場、御霊公園等のどこかでできないものか？福知山市の魅力発信と産業活性化につながると思う。</p>

	方針区分	内容	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>2020年の大河ドラマが戦国武将明智光秀を主人公にした「麒麟がくる」に決定したことを受け、この千載一遇のチャンス活かすため、市内の商工・観光団体などと行政が一体となった官民連携組織「福知山光秀プロジェクト推進協議会」が設立された。令和2年度は、大河ドラマ放送年度であり、協議会として福知山光秀ミュージアムの運営や土産物販売所の設置、観光客の周遊策などを積極的に展開するための費用を計上している。</p> <p>本事業を通じ、市民のおもてなし機運を高めるとともに観光振興という一次的な効果はもとより、様々なきっかけを通じて営利・非営利を問わず市民がまちづくりに関わる機運の醸成を進める。</p> <p>棚卸での指摘事項のうちシビックプライドについては、醸成したことを数値化することは難しい。ただ、市内商工・観光事業者や歴史・文化・観光に関する活動をされている団体と協働して取組むワーキンググループ活動や市内事業者向けの光秀マイスター制度(観光おもてなし勉強会)などがシビックプライド醸成に向けた具体的な活動指標(回数)として活用するとともにこれらの活動を通じ、市民自ら主体的に活動をする機運醸成を進めていく。また、土産物販売所の運営の中で青空市場の設営をという意見については、福知山光秀ミュージアムや福知山城に関心のある方以外へのアプローチ手法として定期市の開催は有効であるため、R2事業展開の中で検討していく。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課												
	作成責任者	足立 譲治												
	事業名	NHK大河ドラマ誘致推進事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	観光費	会計	一般会計	事業コード	230142	決算付属資料	184	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成23(2011)年度												
	終了予定年度	令和2(2020)年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	2020年の大河ドラマが戦国武将明智光秀を主人公にした「麒麟がくる」に決定したことを受け、明智光秀・細川ガラシャ・幽斎・忠興にゆかりの地域で連携して当地域の文化や情報を発信し地域の活性化を図る。										
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会、京都ユニオンサービス(株)										
	事業概要	大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会への負担金 【大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会】構成市町：福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、長岡京市、京丹後市、大山崎町、丹波市、篠山市、若狭町、京都府 事業概要：大河ドラマに関連したイベント等の実施、NHKへの要望活動、パンフレットの作成、首都圏PR活動、署名活動、協議会ホームページによる情報発信										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		負担金補助及び交付金	「大河ドラマ麒麟がくる推進協議会」に対する負担金							750		
旅費		総会出席、NHK京都放送局との協議にかかる旅費							163			
需用費		リサイクルトナー等							50			
委託料		運転代行委託							9			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	602	610	580	1,134	1,091				
	②補正予算			350						
	③流充用額	△ 28	6	43						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越		0	0	0	0					
	次年度繰越		0	0	0					
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	574	566	21	0	0				
	国支出金	0	0	0	0					
	府支出金	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	その他特財	0	50	952	1,134	1,091				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	NHK大河ドラマ誘致推進協議会事務局負担金		種類	雑入	実績金額	100	決算付属資料	44	頁
	特財名称	NHK大河ドラマ誘致推進事業基金繰入		種類	基金繰入	実績金額	865	決算付属資料	34	頁
人件費	0.22/0	0.36 / 0	0.61 / 0	0.61 / 0						
⑤概算人件費	1,760	2,880	4,880	4,880						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,334	3,496	5,853	6,014						
⑦執行額	517	616	972							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	90.1%	100.0%	99.9%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		署名人数	人	1,704/3,000	3,226/3,000	296/3,000	/	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	大河ドラマPRキャンペーン数(市内)	回	7/10	6/10	9/10	/	0	0
	単位あたりコスト		73.9	102.6	108.0			
	署名箱設置箇所数(市内)	箇所	13/15	13/15	13/15	/	0	0
	単位あたりコスト		39.7	47.4	74.8			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成23年から誘致活動を続け、その成果が2020年大河ドラマ「麒麟がくる」につながった。明智光秀ゆかりの地として全国にPRし、観光誘客、地域の活性化につなげていく。 市が単独で行うより、関係団体と連携し事業実施することで、広域的に事業展開が図れる。 大河ドラマは福知山のPRや情報発信効果は大きく、福知山城、まちなか観光、更には周辺地域への観光客の誘致につながり、経済波及効果は高い。 ○8年間の誘致活動が実を結び、2020年の大河ドラマが明智光秀を主役とする「麒麟がくる」に決定した。 ○大河ドラマ決定の波及効果は大きく、岐阜県など、光秀ゆかりの他府県からの来訪が増えている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	○8年間の誘致活動が実を結び、2020年の大河ドラマが明智光秀を主役とする「麒麟がくる」に決定した。 ○大河ドラマ決定の波及効果は大きく、岐阜県など、光秀ゆかりの他府県からの来訪が増えている。		
今後の課題及び方向性	○明智光秀ゆかりの地は岐阜県や滋賀県にも存在するため、競合する部分は避けられないが、情報発信やPR活動を連携して行うことで、相互での誘客を図っていく。 ○また、官民連携組織「福知山光秀プロジェクト」や大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会とも連携し、福知山への誘客、市内での周遊対策を行っていく。			

	所見
庁内及び外部による評価（行革担当課記入）	
三次評価（外部評価）（行革担当課記入）	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度は、2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送年度であり、NHK京都放送局と連携した情報発信やデジタルスタンプラリーをはじめとする広域周遊策など明智光秀・細川ガラシャ・幽齋・忠興にゆかりの市町に実際に誘客を図るための取り組みを展開する費用を計上している。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課											
	作成責任者	清水 俊行											
	事業名	福知山城公園整備事業											
	会計情報	款	土木費	項	都市計画費	目	公園施設費	会計	一般会計	事業コード	530208	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	令和1年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山城を築いた明智光秀が2020年大河ドラマの主人公に決定し、福知山城への来場者の増加が予想されます。城へ続く園路は、損傷も激しく勾配も急なことから、高齢者の方や車椅子、ベビーカー等でも移動しやすい園路へ改修や新設を行い、観光地として来場者の安全性や満足度を高めます。				
	対象者	市民及び観光等による本市への来客数	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	福知山城へ登る園路改修や本丸広場に舗装した園路を設けることで、来場者の安全性、利便性を向上し、高齢者の方や障害のある方など、誰もが訪れやすい魅力ある公園にします。 【改修内容】福知山城公園の登城坂の段差解消、園路舗装、昇龍橋の塗装修繕				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)		
	工事請負費	福知山城公園設備改修工事	0			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			33,800	0	0
		②補正予算			0		
		③流充用額			0		
		④繰越額計			△ 33,800	33,800	0
	繰越	前年度繰越		0	0	33,800	
		次年度繰越		0	△ 33,800	0	
	財源内訳(①④内訳)	一般財源			0	3,900	0
		国支出金			0	0	
		府支出金			0	0	
		地方債			0	29,900	
		その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正・嘱託)		/	0.15 / 0	0.15 / 0	
⑤概算人件費				1,200	1,200		
⑥総事業費 (1)+2+3+4+5)				1,200	35,000		
⑦執行額				0	0		
執行率 (7)/(1)+2+3+4)×100)					0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		福知山城来場者人数	人			40072 / 38000	/ 100000	/100000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事発注件数				1/1	/ 1	/2
		単位あたりコスト				0.0	/	
	単位あたりコスト					/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大河ドラマで明智光秀が主人公となるなど、福知山城の来場者の増加が見込まれることから必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	景観的な要素や、施工困難な地形もあるが、既存コンクリートを活かした工法を選定しコスト削減につなげている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	大河ドラマで明智光秀が主人公となり、福知山城の来場者が増加するが、お城へ続く園路は、勾配も急で損傷も激しいことから、高齢者の方や車椅子、ベビーカー等でも移動しやすい園路の改修や新設を行い、来場者の安全性を高める。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		福知山城公園の施設の改修を行い、大河ドラマがスタートするまでに本工事や関連工事を完成させ、来場者の増加をに対応する。	
今後の課題及び方向性			

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分	内容
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	明智光秀の大河ドラマ放映に伴い、登城坂や本丸広場の園路の整備などをおこない、ベビーカーや車椅子の方等多くの観光客が安全で安心に来場していただけるようになった。
予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課									
	作成責任者	大西 孝治									
	事業名	日本鬼文化交流事業									
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 130117	決算付属資料 182	頁			
	施策体系	施策コード 060301	施策名	観光客の増加を促進する							
	開始年度	平成18年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	酒呑童子祭り事業補助金交付要綱									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大江山酒呑童子祭りを通じて全国に鬼伝説が残る福知山市大江町の鬼」を情報発信するとともに、「日本鬼師の会」の活動を支援することにより、有形の鬼瓦や、無形の鬼伝説を観光・交流コンテンツとして大江地域の活性化を図る。また鬼に関係する市町(兵庫県川西市、静岡県小山町)との相互交流により関係人口の各拡大を図る。									
	対象者	観光入込客数	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	業務委託：有限会社チームワーク 事業実施主体：大江山酒呑童子まつり実行委員会 日本鬼師の会									
	事業概要	大江山酒呑童子祭り実行委員会に対する事業費費支援、日本鬼師の会の活動支援									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	負担金補助及び交付金	大江山酒呑童子祭り補助金、全国研修大会実施補助金							2,400		
	旅費	友好都市交流、日本鬼師の会運営支援の旅費等							96		
	使用料及び賃借料	高速道路通行料							4		
	委託料	バス運行代行委託料							21		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	1,346	2,712	2,591	2,134	1,599				
		②補正予算	12	△ 2,039	0						
		③流充用額			△ 67						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越				0	0					
					0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	858	0	0	0	0				
		国支出金	0	0	0	0	0				
		府支出金	500	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0	0				
		その他特財	0	673	2,521	2,134	1,599				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金		種類	基金繰入金	実績金額	2,521	決算付属資料	34	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.25/0	0.07 / 0	0.1 / 0	0.1 / 0						
⑤概算人件費	2,000	560	800	800							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,358	1,233	3,324	2,934							
⑦執行額	1,353	672	2,521	0							
執行率 (⑦/⑥)×100	99.6%	99.9%	99.9%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086/980,000	/ 980,000	1,000,000
	大江山酒呑童子祭り参加者	人		中止/2,500	2,500/2,500	/	1,000,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		日本鬼師の会大会・理事会	回	4/ 4	3/ 4	3/ 4	/ 4	4
		単位あたりコスト		338.3	224.0	840.3		
鬼にかかわる相互交流		回	4/6	3/6	3/6	/ 6	6	
単位あたりコスト		338.3	224.0	840.3				

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼伝説や鬼瓦を交流コンテンツとして活用した事業であり、個性を活かした地域づくりには必要である。 ・収益性が低く民間事業者は参入しにくい。 ・大江山や鬼という地域資源を最大限活用していることから優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民組織の中でイベント参加負担金や協賛金を募り経費削減と財源確保について意識が高い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標については、期待される目標に達しており、活動内容により一定の効果は期待できる。一方で30年以上の活動実績があるが、イベント自体のマンネリ化は避けられず、先進的事例など調査研究が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・大江山酒呑童子祭り、鬼師の会全国研修大会の開催により、多くの人に鬼をPRできた。 ・また、現代の名工の手による鬼瓦実演会や鬼師の指導による鬼瓦製作体験会での匠の技や、実際に製作体験をしてもらうことで、日本古来の伝統文化である鬼瓦に親近感を感じ、広い世代に鬼瓦を通じて『鬼文化』を知ってもらうよい機会になった。 		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・大江山酒呑童子祭りと鬼師の会の支援のみになってきている状況であり、大江山の自然や大江山の鬼伝説などそれぞれの特徴をうまく合わせた情報発信と実行委員会自らの集客に向けた取り組みの強化が必要である。 			

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	日本鬼師の会については、今後の活動の見直しを明言、全国研修大会のあり方など検討するため、一旦休止とするため、その補助に係る部分を減額。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課									
	作成責任者	大西 孝治									
	事業名	観光おもてなし促進事業									
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230101	決算付属資料 182・184	頁			
	施策体系	施策コード 060301	施策名	観光客の増加を促進する							
	開始年度	平成1年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	一般市民を対象とした観光ガイド養成講座を開催し、観光客の方に歴史・文化・観光スポット等、本市の魅力をより効果的に案内することができる観光ガイドを養成する。									
	対象者	観光客及び市民	対象者数	—	単位あたりコスト	—					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社									
	事業概要	本市への来訪者を市民自らがもてなす「まちづくり観光」を実践するため、観光ガイド養成講座を実施する。JR西日本との連携によるディスカバーウェストハイキングを実施する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費							
	報償費	講座講師等の報償費	357								
	需要費	マイクロバス運行代行	2								
	委託料	燃料費	9								
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	62	456	421	402	402				
		②補正予算			0						
		③流充用額	△ 5	△ 45	0						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0	0				
		次年度繰越		0	0	0	0				
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	57	0	152	0	0				
		国支出金	0	0	0	0	0				
		府支出金	0	0	0	0	0				
		地方債	0	0	0	0	0				
		その他特財	0	411	269	402	402				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金		種類	基金繰入金	実績金額	269	決算付属資料	34	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.07/0	0.08 / 0	0.05 / 0	0.05 / 0					
⑤概算人件費		560	640	400	400						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		617	1,051	821	802						
⑦執行額		39	384	368							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		68.4%	93.4%	87.4%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光ガイド数	人	29 / 30	29/30	35/30	/ 30	30
		受講者数	人	22 / 30	18/30	8/30	/ 30	30
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		養成講座実施数	回	7 / 7	6 / 6	7/7	/ 7	7
		単位あたりコスト		5.6	64.0	52.5		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	観光客に、おもてなしの心をもって福知山の魅力を十分に案内することで、観光客の満足度を高め、何度も福知山を訪れていただくためのおもてなしプランを市として充実させている。 また、ディスカバーウエストハイキングは観光客に観光スポットをより魅力的に伝え地域資源を活性化させるために実施している。 必要最小限の経費である。 ガイド養成講座の実施により、観光案内人の資質の向上を図ることができる。そのことにより、観光客の満足度を高めリピーターとして何度も訪れていただくことが期待できる。 ○サポート会員などの新設などにより、目標のガイド人数は到達し、維持することができている。 ○ディスカバーウエストハイキングについては、聞いてみないと分からない地域の魅力を定期的に発信する場として貴重であり、継続していくことに意味があると考える。 ○講座を修了された方が実際にガイドとして活躍されるのは少人数であり、受講者に対してのフォローが必要である。 ○また、現役ガイドの高齢化が進んでおり、新たな観光ガイドの育成やインバウンド対策が課題。 ○事業棚卸しの指摘を反映して、平成29年度にディスカバーウエストハイキング事業を統合した。また、ガイドの登録者数を指標に設定した。 ○ガイドについて、魅力があるということを市民にPRしていく必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価			
今後の課題及び方向性				

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	予算については、増減はないが、大河ドラマの影響でガイド要請が多くなっている状況がある。ガイド受付は観光協会が担っており、連携を強化することで団体客を中心とした観光客の満足度向上を目指す。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額への反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課												
	作成責任者	大西 孝治												
	事業名	観光振興一般管理事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	観光費	会計	一般会計	事業コード	230125	決算付属資料	184	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成1年度(1989)												
	終了予定年度	令和2年度(2020)												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	観光振興業務を円滑に執行する。										
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	観光振興業務を円滑に行うための必要経費 平成29年度に「観光団体負担金事業」を統合										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		負担金補助及び交付金	北近畿広域観光連盟、京都府観光連盟等への負担金							1,206		
役務費		電話代、運搬料等							724			
旅費		プロモーション会議等にかかる旅費							428			
使用料及び賃借料		高速道路通行料							142			
需用費、報償費		需用費91、報償費5							97			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	800	1,348	1,300	1,575	1,838				
		②補正予算	218	538	0						
		③流充用額			1,297						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	983	1,851	1,265	1,540	1,803				
		国支出金	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0					
		その他特財	35	35	35	35	35				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光テレホンカード		種類	物品売払収入	実績金額	1	決算付属資料	32	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.58/0	1.28 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0						
⑤概算人件費	4,640	10,240	2,400	2,400							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,658	12,126	4,997	3,975							
⑦執行額	1,018	1,879	2,597								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.6%	100.0%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086 /980,000	/	1000000	1,000,000
				/	/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		連携する広域観光団体	団体	/	3/3	3/3	/	3	3
		単位あたりコスト		/	626.3	865.7	/		
			/	/	/	/			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	観光行政全般の必要経費であり、また観光関連施設を適切に維持管理するためには必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	予算は毎年必要最小限の経費を計上しているが、決算は予算を超えている状況が続いている。引き続き事務の簡素化や効率化に努める。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	観光団体との連携強化や、市内観光関連施設を適切に維持管理することで利用者の満足度を向上することができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>○観光振興を推進するための事務であり、必要である。成果指標として未来創造福知山の観光入込客数942,000(H32)は達成可能数値であることから、合併当初の観光入込客数100万人を成果指標とした。平成29年度は回復傾向にあったが、平成30年度では7月豪雨災害により観光客数の減少があった。</p> <p>○近隣自治体と連携して広域観光を推進するためには、関係団体とのさらなる連携が必要。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>○観光振興による地域活性化を図ることが目的であり、観光入込客数や、交流人口の増加させ、観光消費額を上げていくことが重要。そのため今後各団体との連携強化や観光・交流コンテンツの造成が必要であり、合わせて民間事業者への旅行造成となる素材の情報提供を行うなど働きかけが今後の課題である。</p>			

	所見
庁内及び外部による評価 (行革担当課記入) 二次評価 (庁内評価)	
三次評価 (外部評価) (行革担当課記入)	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	各DMOに参画していることでプロモーションなど他市町と共同で取り組み経費が増加しているため必要経費を計上。各広域観光連盟負担金について例年同額を要求
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額への反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	大西 孝治						
	事業名	福知山踊り振興事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230130	決算付属資料 184	頁
	施策体系	施策コード 060301	施策名 観光客の増加を促進する					
	開始年度	平成1年度(1989)						
	終了予定年度	令和2年度(2020)						
	関連計画等							
	根拠法令等	福知山ドッコイセまつり事業補助金・ドッコイセフェスティバル事業補助金・福知山市櫓新造事業補助金						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市内の各団体に対して、福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」等の関連イベントの活性化を図り観光誘客の増加につなげる。踊りの櫓を新造し、更なるまつりの活性化を図る。				
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	福知山踊り振興会 どっこいせまつり実行委員会				
	事業概要	市内の各団体からの要望により福知山踊りの講師を派遣する。 ドッコイセまつりの実施に向けてドッコイセまつり実行委員会へ補助を行う。 平成29年度に「ドッコイセまつり推進事業」を統合				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	負担金補助及び交付金	ドッコイセフェスティバル補助金、ドッコイセまつり補助金、福知山市櫓新造事業補助金	3,469			
	委託料	福知山踊り講師派遣委託料	418			
	旅費	島原市への旅費	709			
	需用費		80			
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	399	2,422	5,101	2,365	2,012
	②補正予算	0	30	0		
	③流充用額			△ 228		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0			
	次年度繰越		0	0		
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	399	30	4,873	2,365	2,012
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	2,422	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.13/0	0.13 / 0	0.08 / 0	0.08 / 0		
⑤概算人件費	1,040	1,040	640	640		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,439	3,492	5,513	3,005		
⑦執行額	399	2,452	4,676			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	96.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
		受講者数	人	1372 / 1500	1815 / 1500	1846 / 1500	/	1500	1500	
	踊り参加者	人	9900 / 9000	7600 / 9000	11300 / 9000	/	9000	9000		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標			
			派遣回数	回	42 / 45	37 / 45	39 / 45	/	45	45
			単位あたりコスト		34.3	66.3	119.8			
					/	/	/	/		
	単位あたりコスト									

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向け、福知山踊りの振興と発展、次代への継承のため、市が取り組む必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	講師派遣必要最小限の経費の支出としている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	講師派遣については、特に保育園・小学校からの要望が多く、伝統文化である「福知山踊り」を次世代へ継承していくために有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		○本市の伝統文化を保存・継承する意味合いにおいては効果が今後重要な事業である。成果指標として毎年行われる踊り受講者や祭りでの踊り参加者を成果指標としている。天候に左右されることもあるが概ね成果目標達成している。	
今後の課題及び方向性		○「福知山踊り」の子どもから高齢者にいたるまでの幅広い層への浸透が課題である。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課										
	作成責任者	大西 孝治										
	事業名	福知山お城まつり支援事業										
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230147	決算付属資料 184	頁				
	施策体系	施策コード 060301	施策名 観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成1年度(1989)										
	終了予定年度	令和2年度(2020)										
	関連計画等											
	根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱										
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()										

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、北近畿で唯一の天守閣があり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ観光交流人口を増加させる。									
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	福知山お城まつり実行委員会									
	事業概要	「福知山お城まつり実行委員会」への補助金 【福知山お城まつり】 事業内容:食の祭典、福知山踊りパレード、光秀行列等 実施日:4月14日(土)、15日(日) 実施場所:広小路通り、御霊神社、福知山城									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費			
	負担金補助及び交付金	福知山お城まつり事業補助金					3,000				
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	3,000	3,000	3,000	3,000
	②補正予算	0	0	0		
	③流充用額			0		
	④繰越額計	3,168	0	0	0	0
予算と執行の状況	前年度繰越		0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
	一般財源	0	0	3,000	0	0
	国支出金	3,168	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0		
その他特財	0	3,000	0	3,000	3,000	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.04/0	0.09 / 0	0.06 / 0	0.06 / 0		
⑤概算人件費	320	720	480	480		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,488	3,720	3,480	3,480		
⑦執行額	3,168	3,000	3,000			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	実績/当初目標	入込客数	人	11,000/12,000	12,000/12,000	11,000/12,000	/ 12000	12,000
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086/980,000	/ 1000000	1,000,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		光秀行列	回	1/1	1/1	1/1	/ 1	1
		単位あたりコスト		3168.0	3000.0	3000.0		
		開催日数	日	2/2	2/2	2/2	/ 2	2
単位あたりコスト		1584.0	1500.0	1500.0				

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市のシンボルである「福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の個性と魅力を継承・発信し、交流・集客の促進につなげていくことができる事業であるため、市として「福知山お城まつり実行委員会」を支援する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	平成21年度から類似事業であった「城フェスティバル」と統合された。協賛金等の財源確保を検討する必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。また、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図るものとして有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		○「福知山お城まつり」は福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客の増加や賑わい創出に寄与している。 ○また、本市のシンボルで明智光秀ゆかりの福知山城をはじめとするゆかりの地のPR効果も大きい。	
今後の課題及び方向性		○福知山市の春を代表するイベントであり、その誘客効果と本市のPR効果は高い。 ○大河ドラマ「麒麟がくる」の決定を受けて、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図る。 ○財源確保や同時開催イベントとの連携を検討しつつ継続して事業を実施するため、平成29年度から、収支決算状況を精査し補助金額を減額した。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	例年同額を要求、内容について大河ドラマ放送年度でもあるため、内容については実行委員会で検討を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課									
	作成責任者	大西 孝治									
	事業名	観光友好都市交流事業									
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230166	決算付属資料 184	頁			
	施策体系	施策コード 060301	施策名	観光客の増加を促進する							
	開始年度	平成25年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成24年に「観光友好都市連携」及び「災害時における相互応援協定」を締結した大江山の酒呑童子伝説とゆかりのある金太郎の生誕地 静岡県小山町と観光分野における地域交流を通して住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため、民間交流を促進し、将来にわたる絆を深める。									
	対象者	市内小中学生	対象者数	7,000	単位あたりコスト	0.4					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	○「夏休み富士山チャレンジ自然体験」の実施 事業内容:富士登山と小山町との交流 参加対象:市内の中学1~3年生 ○「鬼伝説交流事業」の実施 事業内容:小山町の児童を本市に招き、本市の子どもたちと交流を図る 平成29年度に大江支所「観光友好都市鬼伝説交流事業」を統合									
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
	旅費	夏休み富士山チャレンジにかかる旅費							37		
	需用費	紐付き名札、携帯酸素等							14		
	使用料及び賃借料	バス借上運転 他							380		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	615	1,191	1,142	1,082	1,227				
		②補正予算	511	△ 609	0						
		③流充用額			△ 672						
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越						0				
							0				
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	976	82	414	0	221				
		国支出金	0	0	0	0					
		府支出金	0	500	0	0					
		地方債	0	0	0	0					
		その他特財	150	0	56	1,082	1,006				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	友好都市交流事業参加者負担金		種類	諸収入	実績金額	56	決算付属資料	44	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.13/0	0.13 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0						
⑤概算人件費	1,040	1,040	2,400	2,400							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,166	1,622	2,870	3,482							
⑦執行額	1,041	582	431								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	92.5%	100.0%	91.7%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		富士山登山参加数	人	28	16	14	/ 14	14
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施回数	回	1/ 1	2/ 2	1/2	/ 2	2
		単位あたりコスト		520.5	291.0	431.0	/	
単位あたりコスト		/	/	/	/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	効率よく有効に事業が実施できていることに加えて、小山町にも積極的に協力をいただいている。 H30からは富士山登山参加者から負担金を徴収
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民(中学生同士)が交流することにより、両市町の親交を更に深めることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		○小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。 ○募集については、各中学校へ案内を配布、参加申込は毎年30名程度を受付けている状況であるが、受入先の態勢で15名程度である。(H30:14人)	
今後の課題及び方向性		○行政間だけの交流にとどまらず、市民町民間の交流が行われることで、小山町との友好の絆をさらに深めて行く展開手法が課題。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	バス運行人件費が高騰していることから必要経費を計上した。 【H30棚卸しによる見直し状況】 交流した児童生徒からは参加して良かった。参加したいとの意見を受けたため、継続実施
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課												
	作成責任者	大西 孝治												
	事業名	福知山観光地域づくりセンター運営事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	観光費	会計	一般会計	事業コード	230184	決算付属資料	184	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成29年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	『北近畿の玄関口としての特性を活かし、市民主体で持続可能な観光コンテンツをつくる』を戦略テーマとし、本市にある過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを進める。									
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	株式会社Localize・(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部									
	事業概要	○ 民間の専門的な視点やノウハウを有した戦略マネージャー及び地域づくり担当を外部委託し、地域の特徴を活かした観光地域づくりプランを作成し、地域関係者や事業者を交え伴走型により事業を展開。 (H30年度取組地域) 大原地区・上六人部地区・三岳地区									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	報償費	プロポーザルにかかる外部委員への報酬							30		
	需用費	事務経費							60		
	委託料	受託事業者への委託料							12,687		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	0	13,603	13,138	8,784	6,794				
		②補正予算	0	△ 521	△ 283						
		③流充用額									
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	0	0	107	0	0				
		国支出金	0	6,541	6,373	4,392	3,354				
		府支出金	0			0					
		地方債	0			0					
		その他特財	0	6,541	6,375	4,392	3,440				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金		種類	国支出金	実績金額	6,373	決算付属資料	18	頁
		特財名称	地域振興基金		種類	基金繰入金	実績金額	6,375	決算付属資料	34	頁
	人件費	0.00/0	0.71 / 0	0.4 / 0	0.4 / 0						
⑤概算人件費	0	5,680	3,200	3,200							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	18,762	16,055	11,984							
⑦執行額	0	13,010	12,777								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	—	99.4%	99.4%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086 /980,000	/ 1000000	1,000,000
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業着手数	回	/	2/3	3/ 3	/ 3	3
		単位あたりコスト		—	6505.0	4259.0		
			/	/	/			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福知山市への観光交流人口や関係人口を拡大を図り、持続可能な観光地域づくりを推進するために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	専門的な経験と知識を有した民間事業者に業務を委託することで、地域資源を観光・交流コンテンツ化できる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	平成29年度の新規事業であり、単年度での観光・交流コンテンツの造成は困難であり一定期間継続して取り組む必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>○行政からの支援に依存しない持続可能な観光地域づくりを推進するために必要な取組み。</p> <p>○初年度である平成29年度は、事業着手箇所の選定と関係者間の調整を実施し目標としていた3箇所の事業着手は達成。</p> <p>○平成30年度は、前年度から引き継いだ2事業に新規1事業を加え3箇所で事業実施した。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>○観光を切り口として地域の資源を磨き、地域全体での持続可能な取り組みとする必要がある。地域に多様な関わりを持つ関係人口を増やしていくが課題。</p> <p>○過疎、高齢化する地域を継続して活動が行えるよう支援するコーディネート人材確保が必要。</p>			

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	現在3地区の観光地域づくり業務を委託しているが、自走化出切る見込の地区があるため、2地区として取り組む予算を要求。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	大西 孝治						
	事業名	「肉のまち福知山」事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230186	決算付属資料 184	頁
	施策体系	施策コード 060301	施策名 観光客の増加を促進する					
	開始年度	平成29年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	肉まちふくちやま事業補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市にはかつて、西日本の三大家畜市場の一つとして全国の流通を支え、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く、複合的な肉文化が存在していることから、「スイーツのまち」に加え、肉をテーマにした物語の組立や資源の再発見など、新たな観光コンテンツとして「肉のまち福知山」をPRすることで観光誘客や地元産業の活性化を図る。					
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	福知山肉まち協議会					
	事業概要	福知山肉まち協議会が実施するイベントに対する活動支援経費					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		負担金補助及び交付金	福知山肉まち協議会に対する補助金			2,000	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	0	1,200	2,000	1,800	1,255			
	②補正予算	0	△ 293	0					
	③流充用額	0		0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
予算と執行の状況	前年度繰越		0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
	一般財源	0	0	0	0	0			
	国支出金	0	453	1,000	900	600			
	府支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他特財	0	454	1,000	900	655			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	国庫補助金	実績金額	1,000	決算付属資料	18	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0/0	0.21 / 0	0.42 / 0	0.42 / 0					
⑤概算人件費	0	1,680	3,360	3,360					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	2,587	5,360	5,160					
⑦執行額	0	906	2,000						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	-	99.9%	100.0%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	観光入込客数	人	/	946,618 / 960,000	927,086 / 980,000	/ 1000000	1,000,000
	イベント参加者数	人		中止	7000 / 3000	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	実施回数	回	/	0 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		-	0.0	2000.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	「肉のまち福知山」として福知山市をPRする中心的事業であり、観光誘客の促進に効果があるため、市が中心となって事業を展開する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	出店料を徴収する仕組みとし、財源の確保に努めた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	7,000人の来場者があり、広く「肉のまち福知山」をPRできた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		○肉という食のコンテンツを活用したイベントで市内外から集客できたことにより、市の主要なイベントとなり、成果指標も概ね達成している。	
今後の課題及び方向性		○イベントだけにとどまらず、恒常的に「肉のまち福知山」を感じられる仕組みづくりが必要。 ○単発事業でなく、継続的な事業展開が図られるよう、関係業界等との連携や民間活力の活用により市内外に発信できる事業を目指す。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業立ち上げ時から終期を3年と定めているため、総額抑制をしつつイベントのやり方を見直す。 【H30棚卸しによる見直し状況】 周遊対策としてクーポン券であるとか、日を決めて店舗自らがサービスを行う事など協議中
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課									
	作成責任者	大西 孝治									
	事業名	海の京都DMO事業									
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230344	決算付属資料 184	頁			
	施策体系	施策コード 060301	施策名 観光客の増加を促進する								
	開始年度	平成25年度(2013)									
	終了予定年度	令和2年度(2020)									
	関連計画等										
	根拠法令等										
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・他市協調実施)									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成27年、京都縦貫自動車道が全線開通し、アクセスが飛躍的に向上が向上した京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施									
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	海の京都DMO									
	事業概要	「海の京都観光圏」エリアの京都府北部5市2町の行政、商工業、宿泊業、金融業等で構成する「海の京都DMO」に対して負担金を負担する。									
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
	負担金補助及び交付金	海の京都DMOに対する自治体負担金						11,851			
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	11,815	11,851	11,288	11,419
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	12,390	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
予算と執行の状況	一般財源	0	0	0	0	0
	国支出金	12,390	4,343	4,338	4,068	5,709
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	7,472	7,513	7,220	5,710
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称 地方創生推進交付金	種類 国庫補助金	実績金額 4338	決算付属資料 18	頁	
	特財名称 海の京都DMO事業基金繰入	種類 基金繰入金	実績金額 7513	決算付属資料 34	頁	
人件費	0.40/0	0.19 / 0	0.2 / 0	0.2 / 0		
⑤概算人件費	3,200	1,520	1,600	1,600		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	15,590	13,335	13,451	12,888		
⑦執行額	12,390	11,815	11,851			
執行率 (⑦/⑥)×100	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086 /980,000	/ 1000000	1,000,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		特産品販売額	万円	/	1,100/2,000	691/2,000	/ 2000	2000
	単位あたりコスト		-	10.7	17.1			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の人口減少・高齢化に対する対策として観光による民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在は人員、財源ともに行政が主導している。民間主導につなげる仕組みが必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>○北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [H30主要事業] ・継続的データ収集・整備・分析 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・情報発信・プロモーション 等</p>		
今後の課題及び方向性	<p>○インバウンド向けの体験着地型旅行造成と合わせてローカルカイドなど福知山の良さを伝える人材の確保が急務であり、DMOと連携しながら人材確保や商品開発を行っていく。</p>			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	自治体負担割合を計上
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	大西 孝治						
	事業名	森の京都DMO事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 観光費	会計 一般会計	事業コード 230345	決算付属資料 186	頁
	施策体系	施策コード 060301	施策名 観光客の増加を促進する					
	開始年度	平成28年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	-						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市協調実施)						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大江山や芦生の森、美山かやぶきの里を有する京都府中部地域(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、生命と文化を育んできた「森」を多面的な角度からとらえ、豊かな自然と文化に触れ、活かし、未来に受け継げるよう林業の活性化や森の文化の発信などをとおして観光地域づくりを推進し地域活性化を図る。					
	対象者	観光客及び市民	対象者数	927,086	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	森の京都DMO					
	事業概要	森の京都エリア4市1町での観光や農林業の振興を目的に平成29年3月に設立された「森の京都DMO」に対して負担金を負担する。					
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費		
	負担金補助及び交付金	「森の京都DMO」に対する自治体負担金			9,552		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	10,100	9,552	9,124	9,124
	②補正予算	0	0	0		
	③流用額			0		
	④繰越額計	4,500	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	0	0	20	0	0
	国支支出金	4,500	3,900	3,666	3,337	4,562
	府支支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
その他特財	0	6,200	5,866	5,787	4,562	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称 地方創生推進交付金	種類 国庫補助金	実績金額 3,666	決算付属資料 18	頁	
	特財名称 千年の森ふるさと基金繰入金	種類 基金繰入金	実績金額 4,370	決算付属資料 36	頁	
人件費	0.20/0	0.19 / 0	0.17 / 0	0.17 / 0		
⑤概算人件費	1,600	1,520	1,360	1,360		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,100	11,620	10,912	10,484		
⑦執行額	4,500	10,100	9,552			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	927,086 /980,000	/ 1000000	1,000,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		地域人材育成研修回数	回	/	5/8	3/8	/ 8	8
	単位あたりコスト		-	2020.0	3184.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の人口減少・高齢化に対する対策として観光による民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在は人員、財源ともに行政が主導している。民間主導につなげる仕組みが必要。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間主体の観光による地域振興の取り組みとして必要。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開 [H30主要事業] ・国内外プロモーション ・マーケティング調査(WEB調査・動向調査) ・着地型旅行商品開発・販売 ・特産品開発・ブランド化・販売促進 ・人材育成 等		
今後の課題及び方向性	○観光協会の関わり方、将来の経営見込み、事業費の市町負担、運営形態など今後調整を要する事項が多く関係市町と連携しつつ注視する必要がある。 ODMOと協力して着地型旅行造成や情報発信など連携強化をさらに図っていく必要がある。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	自治体負担割合を計上
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 農政課												
	作成責任者	大西 誠樹												
	事業名	大呂自然休養村管理事業												
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	農業総務費	会計	一般会計	事業コード	220211	決算付属資料	166	頁
	施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
	開始年度	平成18(2006)年度												
	終了予定年度	令和4(2022)年度												
	関連計画等	辺地総合整備計画												
	根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。												
	対象者	上川口地域住民	対象者数	1,481	単位あたりコスト	12.4								
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	榊丹波悠遊の森協会 指定管理者による管理運営によって、民間ノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の運営を行う。												
	事業概要													
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		需用費	グラウンドゴルフ場トラクターロータリーブレード取替修繕										31	
役務費		建物総合共済基金分担金										87		
委託料		福知山市大呂自然休養村センター指定管理料										16,000		
補償、補填及び賠償金		不可抗力によって発生した損失補填金										1,061		
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	8,949	20,932	17,088	14,365	9,092			
	②補正予算			61	0				
	③流充用額	4,546	△ 1,412	30	0				
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越									
	0								
次年度繰越									
	0								
一般財源	13,370	9,128	17,059	14,222	8,949				
国支出金	0	0	0	0					
府支出金	0	0	0	0					
地方債	0	4,000	0	0					
その他特財	125	6,392	120	143	143				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	使用料	実績金額	143	決算付属資料	8	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	1.65/0.1	1.36 / 0	0.14 / 0	0.14 / 0					
⑤概算人件費	13,450	10,880	1,120	1,120					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	26,945	30,400	18,299	15,485					
⑦執行額	11,482	16,117	17,179						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	85.1%	82.6%	100.0%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	0 / 1,030	0/0	896/1,600	/1,680	1,840	
	上記以外の施設利用者数	人	/	/	7,550/11,400	/12,600	15,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
			施設開館日数	日	182 / 311	311/311	315/311	/311	311
			単位あたりコスト		63.1	51.8	54.5		
					/	/	/	/	
	単位あたりコスト								

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る施設であることから、市が指定管理施設として、民間の能力を活用しつつ、サービスの向上、経費の削減等を図り、運営する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	指定管理者制度を取り入れることで、民間のノウハウによる施設利用者の増加やコスト削減を行い、市の直営ではできない施設運営の効率化を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と複合して運営することで、施設利用者の増加が図られ、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>平成30年度は、(株)丹波悠遊の森協会が指定管理者として施設を管理運営する1年目であったが、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の運営を行い、地域と協調した施設運営を行い地域活性化につながった。</p> <p>平成30年度は繁忙期となる7月初旬に大きな災害を受けたことも影響し、宿泊利用者数は目標の1600人に達することができなかったが、宿泊者の約7割が府外からの利用者であり一定の評価はできる。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>平成30年度から令和4年度までの5年間は、新たな指定管理者として(株)丹波悠遊の森協会を指定管理者に指定し、施設運営を行っている。</p> <p>課題としては、災害等により減少した利用者を回復させる取り組みを進めること。</p> <p>方向性としては、設置目的である「農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る」ために、指定管理期間5年間で大呂自然休養村センターの運営基盤を確立し、安定した経営が図れるよう支援を行う。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>指定管理者の(株)丹波悠遊の森協会は、丹波市の指定管理施設である丹波悠遊の森で、京阪神地域を中心とした誘客を実績として得られている。この運営ノウハウが活かされるよう、指定管理者とのコミュニケーションを図り、可能な限りバックアップを行う。</p> <p>予算要求方針としては、債務負担行為に基づき指定管理料を支出する。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充